

オンライン講座

2021年度 明治学院大学公開講座

「コロナ禍とわたしたちの社会— パンデミックのなかで生きること」

COVID-19（新型コロナウイルス）感染症が世界的に猛威をふるい、私たちの社会生活に計り知れない影響を与えています。数多くの人々が職業活動や家庭生活に大きな変化を強いられ、さまざまな困難に直面させられています。他方、いま何が起きているのかを理解するためには、逆向きの因果関係も見逃すことはできません。ウイルスという、それ自体としては自然の産物としか言いやうのないものが私たちの社会に何をもたらしたかを問うだけでなく、逆に私たちの社会や政治のあり方がどのようにしてこの事態を生み出したのかを問う必要があるのです。

これほど多くの人々が感染し、死に至り、多くの人が経済的・精神的打撃を受けたこのパンデミックは、結局は自然の猛威として甘受するほかにないものだったのか、それとも社会や政治のあり方が異なっていたならば、異なる結果がありえたのか。—こうした問いに答えるための手がかりを求めて、社会学部附属研究所では、この未曾有の事態を多角的に検証する連続講座を企画いたしました。

各分野の第一人者と言うべき講師陣のお話から、「私たちにとってCOVID-19とは何だったのか」を深く知るためのヒントが得られることを期待しています。

受講料：2500円（全5回）

企画：明治学院大学社会学部附属研究所

実施形態：オンライン形式（Zoomミーティング）

問い合わせ・申込み先

明治学院大学 総合企画室社会連携課 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

TEL：03-5421-5247（平日9:00～16:00）E-mail：ykoukai@mguad.meijigakuin.ac.jp

各日13:30～15:30

日付	講演テーマ	講演者
10/9（土）	外国人労働者と コロナ禍以降の日本社会	望月優大 （ライター・編集者）
10/16（土）	新型コロナウイルス感染症 対策をめぐる倫理的な問題	杉本俊介 （慶應義塾大学 商学部准教授）
10/23（土）	感染症と人間社会 ：歴史から考える	小田中直樹 （東北大学大学院 経済学研究科教授）
10/30（土）	コロナ禍における 失業・困窮・自殺と社会保障 ：データから見えるものと見えないもの	安藤道人 （立教大学 経済学部准教授）
11/6（土）	コロナ禍における 子ども子育て支援	松原康雄 （本学名誉教授・ 前学長）



◀ 申込み、詳細はこちらへ